

議 会 広 報 特 別 委 員 会

日 時	令和 6年 6月28日（金） 閉会中	9時45分 開会 10時58分 閉会
場 所	相良庁舎 4階 第3会議室	
出席議員	（委員長） 8番 種茂和男 （副委員長） 3番 絹村智昭	
	7番 松下定弘	6番 木村正利
	2番 谷口恵世	1番 石山和生
欠席議員		
法第105条出席		
事務局	書記 中田 綾	書記 八木裕介
説明員		

署名 _____ 議会広報特別委員長

開会の宣告

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

時間のほう、ちょっと早いんですけど、始めたいと思います。

2 事件 （1） 牧之原市議会だより「かけはし」第75号について

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

それでは、「かけはし」第75号について、事務局のほうからお話ししていただけますか。

○事務局書記（八木裕介君）

牧之原市議会だより「かけはし」第75号について、今回の委員会でページ構成の決定までさせていただければと思います。

今回検討していただく事項につきましては2点ございまして、補正予算連合審査会の質疑をどれにするかというものと、あと特集ページの5.5ページ分のものを皆様に決めていただければと思います。

ではまず一点目に、補正予算連合審査のことになるんですが、資料の補正予算連合審査会質疑箇所というものをご覧ください。

今回の質疑なんですが、基本的に広報の掲載する記事というのが、1個の予算科目について1個分になるんですが、その方式でいってしまうと、今回3科目分しか質疑が出ていない関係ですので、事務局といたしましては、今回5件分掲載を予定しておりますので、地域力創造アドバイザー活用業務委託料から1点、まきのはらガストロノミーツーリズム推進協議会負担金のほうから3点、牧之原市国民健康保険特別会計補正予算のほうから1件ということにさせていただければと思うのですが、皆様のご意見はいかがでしょうか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

どうですか。よろしいですか。何かありますか。

○事務局書記（八木裕介君）

基本的に予算科目1個に対して1個載せるのですが、今回3個しか出ていないので3件分になってしまうため、質問が多く出ていたガストロノミーツーリズムのほうから3件選んで、ほかで1件ずつで合計5件の掲載にしようかと思うんですが、いかがでしょうか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ガストロノミーのところから意見を3件絞りましょうということです。

ここがいいよというのを手を挙げていったほうがいいのかな。何回挙げる。

○（谷口恵世君）

この黄色の所はどういったものですか。

○事務局書記（八木裕介君）

黄色のところに関しましては、1件目の質問ではなく再質問で来たものになりますので、流れというか、白のもので始まって、その後に聞いた質問になります。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

広報委員じゃない人のものを拾うべきなのか、これが広報の人間でもこれは載せたいと

いうものがあれば、選んでいただきたいと思いますので、3回挙げたほうがいいのかな。1回でいい。

○（石山和生君）

黒ボツに対して手を挙げればいいということですか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

これを掲載してほしいよというのを、例えば一番最初に太田議員ものが出てくるじゃない。太田議員のものがよければ、手を挙げて。

事務局。

○事務局書記（八木裕介君）

今まで人ごとでやってきているので、人ごとのほうがいいかと思います。

○（谷口恵世君）

人。太田議員だったら太田議員。誰だったら誰みたいな。人で選ぶ。人の質問で選ぶ。

○（石山和生君）

黒ボツじゃなくて、人の単位でということですね。

○（谷口恵世君）

そうすると、一個目は太田議員しかないから。まとめるということ。

人で選ぶだけだから、2のところだけ、人を誰にするか。それ三つ選ぶんでしょう。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

太田議員と植田議員と石山議員のもので。

○（谷口恵世君）

三つだから、それぞれで一つ選ぶということ。一人選ぶ。

○（石山和生君）

一人の中から、三つの質問があるから、それを載せるということ。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

この中から3人のものを載せますよということでしょう。

○事務局書記（八木裕介君）

歳出の地域力アドバイザーと、歳出のほうは、人ごとで原稿の担当の議員さんがその中から一つ選んでいただいて掲載していただければと思います。

次に、皆様の中からこのまきのはらガストロノミーツーリズム、今6名出ていますが、その中から3名分をお選びいただいて、またその後、原稿の担当委員さんのほうで人ごとに何個かある質疑の中から選んでいただいて、それを掲載していただければと思います。

手を挙げる回数は一人一票。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

いいですか。

じゃあ、随時手を挙げていってください。

最初に太田議員。続いて、植田議員。大石議員。私。石山議員。名波議員。

以上ですけど。どう。

○事務局書記（八木裕介君）

今の結果なんですが、太田議員が2票、植田議員が2票、大石議員が0票、種茂議員が0票、石山議員が1票、名波議員が1票で、太田議員と植田議員につきましては2票ずつ

なので、このお二方は決定で、もう一つ、石山議員と名波議員のものが1票ずつで分かれてしまったので、こちらでもう一度決選投票というような形で手を挙げていただければと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

1回で、石山議員のほう。名波議員。

○（谷口恵世君）

ちょっと待ってください。多分、内容が私かぶっているのがあるから、それが入っていれば、別にそっちでも。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

では、石山議員。名波議員。

○事務局書記（八木裕介君）

では、石山議員の質疑について掲載をさせていただこうと思います。

今なんですけど、5件分決まりましたので、委員長のほうで担当する委員のほうを割り振っていただければと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

2-9-10のほうを、松下委員。2の太田議員のところを谷口委員。石山委員のところを植田議員のものをやってください。木村委員のほうで、石山委員のところをやって、次の番号10、これはできるかな。日程的にいつまで。

○事務局書記（中田 綾君）

大体いつも補正予算の質疑の締切は、第4回の委員会の前ぐらいになっていますので、今回は7月の中旬ぐらいまでが締切になりますので、もしご無理なようであれば。

○（絹村智昭君）

ちょっと7月の中旬は。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

じゃあ、私のほうで10番。

ちょっとここで申し上げますけど、絹村委員のほうで。

○（絹村智昭君）

会議中すみません。7月2日から自分は入院することになって、それから大体2週間かなという、病院側から話を聞いていますので、それまでちょっと。できることをやりたいなと思うんですけど、また迷惑がかかってしまうところがあると思うので、ご容赦いただければと思いますので、よろしくお願いします。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

そういう具合です。ということで。

次、お願いします。

○（石山和生君）

今さっき、私の質問があったので、その部分をやりたいので、木村委員と、よければ交換してほしいんですけど、いいですか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

いいですよ。僕は別に。

○（石山和生君）

では、すみません。そのようにお願いします。

では、植田議員のところをお願いします。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

特記事項の件に関して、5.5ページ分。

○事務局書記（八木裕介君）

では、ページ割りのことでもう一つなんですが、特集記事、5.5ページ分のスペースがありますので、ページ割りという資料をご覧ください。

今こちらで第75号の15ページから20ページ分がスペースが空いてしまっているの、この部分の特集ページを皆様で考えていただければと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

これ、事務局のほうで案がありましたら。

○事務局書記（八木裕介君）

直近での市民会議等につきましては、4月24日に文教の市民会議、5月14日に議会改革のほうでDXの勉強会、5月16日に広報の視察研修がありまして、5月31日に中電のほうに全議員視察ということで行きまして、6月10日に総務のほうで勉強会で県の茶業の方を招いてウェブでやりまして、7月1日から3日につきましては総務建設委員会のほうで視察に行くので、そちらも記事にできるのではないかなと思います。

皆様のほうで何か案があれば、そこに追加してでも大丈夫かと思えます。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

どうですか。

○（木村正利君）

今事務局が言ってくれたとおり、最新の視察研修も載せられるということだったんですが、取りあえずそれまでの今数を数えていったら、31日の中電の視察ぐらいまで、市民会議とですね、入れていくとページがまとまるかなと。

あえてさっき総務のところとおっしゃられましたが、それはもしあったら文教のほう、次回のほうにも合わせての記事にしたほうが、埋まるんだったら、僕はそんな具合に総務のものをぎりぎり入れてしまうよりとも思いました。

市民会議って何と何でしたっけ。広報と総務の市民会議。広報じゃないか。文教と総務。総務は市民会議をしていないから。

○（谷口恵世君）

勉強会、リモートの。

○（木村正利君）

もう一回言っていたいていいですか。

○事務局書記（八木裕介君）

文教の市民会議、4月24日です。議会改革特別委員会の勉強会、議会におけるDXということで、川口氏をお招きして行ったものが5月14日。議会広報特別委員会の視察研修が5月16日。全議員視察研修、中電に行ったものが5月31日。総務建設委員会の勉強会、県の茶業のことで6月10日。総務建設委員会の視察研修ということで、7月1日から3日になります。

これで6点分にはなるのですが。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

7月24日というのは、ハードルが高いんじゃない。7月24日って、何か言わなかった。一番最初に。

○**（谷口恵世君）**

4月。

○**（木村正利君）**

4月24日、市民会議。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

分かりました。

なので、ここの中から、これで大体全部ページが埋まるなら、それでいいよね。

○**（谷口恵世君）**

最後の総務の視察は7月だから、それは次回に回して、そこまでの範囲が。

○**（木村正利君）**

今、一応八木さんね、15ページから19ページが空いているので、五つでいいのかなと私思ったものですから、さっきの総務建設の勉強会じゃなくて、視察を入れてしまうと6ページ目になるわけですね。編集後記のところになるので、これはまたちょっと考えて、五つで、1ページごとでいけるかなと思ったものですから、そんな意見です。

○**（石山和生君）**

冷静に、中電の視察って1ページも書くことありますか。あれば全然いいと思います。

○**事務局書記（八木裕介君）**

一応、中電に視察に行くときは、裏面の上半分ということでよく収まってしまっていることはあります。

○**（石山和生君）**

書けるんだったらいいかなと思いますけど。そんなに長々と1ページ使って書くって大変かなと。

○**事務局書記（八木裕介君）**

一応内容的になんですが、茶業のものと、あとDXの勉強会で1ページ埋めるというのが、なかなか難しいとは思うので、勉強会の項目で1ページ分、0.5ページ、0.5ページとしてしまうのもいいかと思います。

○**（石山和生君）**

そうすると1ページになるということですね。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

事務局でつくっていただくので、そこら辺のページの間でしやすい状態で、我々が考えるならともかく、こっちのほうでいろいろ担当してもらうものだから。

どんなものでしょうか。

石山委員。

○**（石山和生君）**

事務局が一番やりやすい話でいったら、恐らくDXと中電視察は0.5で、それらを合わせて1ページのほうがやりやすいということだったので、あと1ページの案を何か出せばいいんだと思うんですけど、今からアイデアを出すか、総務の視察をそのまま入れてしま

うかどっちか。

入れてもいいような気がするけど。

1 ページ空いているんだったら。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

次回の文教まで待たずに、総務のものを取りあえず入れておく。

事務局。

○事務局書記（八木裕介君）

ページの組み方になるんですが、恐らく市民会議で1 ページ、DX の関係で0.5、広報の視察の関係で1 ページ、中電で0.5ページ、総務の視察で1 ページで、裏面の茶業で0.5ページで、4.5しかなくて、あと1 ページ分丸々空いてしまう。

○（石山和生君）

総務の勉強会も0.5。

○（木村正利君）

0.5です。

○（石山和生君）

今言った裏面の0.5って、市議会議長会勤続表彰のほうで使うわけにいかないんですか。

○事務局書記（八木裕介君）

表彰のものにつきましては、3 行分ぐらいで収まってしまう文面になるので。

○（木村正利君）

前回、広報として見やすいものとやっているものの継続として、もし石山委員にDX の流れの中で、広報として新しい取組をやっていると、ナンバー2 じゃないけど、半ページぐらい埋めるのはどうかなと。

○（石山和生君）

いいじゃないですか。見出しを変える、見出しじゃなくて表紙、表紙を変えますみたいな。

○（谷口恵世君）

そうだね。広報で1 ページ使ってもいいということ。広報で何か新しい取組をやりますみたいな。

○（石山和生君）

今後はこういう表紙になりますよみたいな。

○（谷口恵世君）

それしたっていいな。

○（石山和生君）

その場合は、恐らく文教の市民会議を0.5にしたらいんじゃないですか。さすがにそれ、広報の活動はやるんだったら1 ページかなと思うんですけど。

○（谷口恵世君）

1 ページ丸々あえてというのは。

○（石山和生君）

今0.5ページ空いている。

○事務局書記（八木裕介君）

ページの説明としまして、例えば15ページに広報の視察を1ページ丸々持ってきてまして、16ページに総務の視察を丸々1ページ。17ページに上と下で勉強会二つ、DXのものと茶業のもの。18ページに文教の市民会議を載せまして、19ページが空きまして、20ページの裏面の上に中電が来るかと思います。

○（石山和生君）

それならいいんじゃないですか。

そのページをつくるのに伴って、今後の表紙の話を詰めていくというか。詰めないと危ないですよ。次の次からもう写真がないので。

そうですか。その話し合った結果を載せたらいいかもしれないです。

○（谷口恵世君）

それは協議会でもう委員長が、CSの写真とかという話になっているから、そういう予告みたいなものを少し、広報紙で表紙を変えていきますみたいなのを載せる。

○（石山和生君）

果たして、それだけで1ページもつかというのがあれなので、この前言っていた、リニューアル的なことを本当にするんだったら、そこに向けて何かするのかとか、表紙を全面にくらいしか。前いていたあれ。

○（谷口恵世君）

広報委員会では、今後こういうふうに進めていきますみたいなものを載せるとか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

写真を変えると。前回には、動きのあるものとか、文字をどうだこうだというのはやったわけですね。なので、それ以外に新しいことで何か。それか実際に、こんなページになりますよというのを本当に。それは説明じゃなくて、どこかのページで使ってしまったてやるのかね。考えていますよという形にするのか。

結局、そういうものばかり出してページがもったいないというので載せるにしても、いろいろと困るもんだな。そういう記事ばかりだと。

○（石山和生君）

1ページももたない気がする。

○（谷口恵世君）

もたないよね。

それを例えば半ページにしたとしても、半ページで何をするのか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

それか、何か入れて空間のとか、写真というか、そういうもので4.5ページというなら、文字ばかりじゃなくて、写真点数を多くしてもらって、報告書で埋めていってもいいし。今1ページ足りないじゃなくて、足りるようにしてしまうのかね。記事は少なくとも、写真点数で増やすとか。

事務局、どう思いますか。

○事務局書記（中田 綾君）

今までの案にはなかったんですけれども、ちょっとまた、恐らく行かれるのは正副議長だと思われるんですけれども、7月に県と国のほうへ防潮堤整備の関係で要望活動に行かれる予定が入っておりまして、過去、そういった県や国へ要望を行った際に記事を載せて

いる例があったので、ページとしては0.5ページというか、半分ぐらいだと思うんですけども、多分7月、委員会の第5回の前には間に合うと思いますので、そちらを載せるかどうか。

○（石山和生君）

表紙を変えますで0.5で、今ので0.5。

○（木村正利君）

八木さん、ごめん。もう一回さっきの流れで、15ページに広報の視察。もう一回、ごめんなさい。ゆっくり言っていただいてもいいですか。

○事務局書記（八木裕介君）

すみません、資料をご用意しておけばよかったんですが、15ページに広報の視察研修。5月15日に行ったものを。16ページに、7月1日からこちらで行く総務の視察研修。17ページに、文教の市民会議。18ページにDXのものと茶業の勉強会を、各0.5ページずつ載せて1ページ。19ページに要望活動と、あと表紙の変更ということで0.5ページずつで、計1ページ。20ページの裏面の上の部分としまして、中電のものになります。

今僕のほうで申し上げたものになりますと、今回、16ページ、17ページが見開きページになるので、できれば広報と総務の視察が、両方視察研修になるので、そこを見開きに持ってくれば収まりがよくなるかなと思いますので、文教の市民会議のほうを15ページに持っていきまして、ほかを繰り下げて、16ページ、17ページで両委員会の視察研修ということにさせていただければと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

では、お願いします。

表紙を変えるというところの文章構成は、そちらで事務局のほうで考えてもらえるのか、こっちでつくるのか。

○事務局書記（中田 綾君）

広報委員会としてのページになりますので、広報の委員さんに前回と同じようにつくっていただければと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

どんなふうに表紙をやりますよというのを、そこら辺我と思う人はいませんか。1面に使いますとか何か、表紙、文字とちょっと具体的にこんなふうになりますよという表紙の絵柄みたいな載せられるようなもの。

○（木村正利君）

一応もう1回確認なんですが、幼稚園の関係というか、保育園、あそこの表紙が、もうあと2号ぐらいで終わるという中で、取りあえずCSディレクターを含めたCS活動のほうというのは、まず議会広報としていいですねという確認を取っておかないといけないかなという。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

それは次の「かけはし」第77号以降の表紙についてということで、やります。

○（木村正利君）

ですので、一応この後のことをやるという前提で、今ここの埋めるところをというふうに進めていく中では、じゃあ石山委員、ちょっと構成は、イメージというのは助けていた

できれば、僕も。

○（石山和生君）

構成というか、ただ文章を書くだけなので。

○（木村正利君）

ある程度若干じゃないけど、例えばPDFで、今のページがあるじゃないですか。七十何号とかというのは、今こうなっている表紙のPDFを取っておいて、それを僕は絵柄的に、全画面のものでここがこうだよというほうが、見る人は見やすいかなという意味で今、石山委員と、この前の動いている写真なんかの構成を石山委員にやっていただいたので、文章というよりも、ビジュアル的にこんなイメージだよというほうがどうかな。

○（石山和生君）

0.5ページしかないので、普通に考えると、文章と右側にちょっとビフォーアフターの写真が来るくらいしか考えられないんですけど。

なので、そんなデザインを凝るみたいなことは、仮に僕に任されたとしても別に特にしませんよという感じです。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

絹村委員。

○（絹村智昭君）

確認させてください。今回のこの中で、あれは入っていますか。陳情のものは。冤罪の。不採択だけ。

○事務局書記（中田 綾君）

まず、陳情のお話を多分全協でされたと思うんですけど、その全協で上程をしないという決定をされたと思いますので、上程をしていない以上、載せるのはあれかなと思うんですけれども。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

事務局。

○事務局書記（八木裕介君）

また原稿の担当の委員さんを決めて割り振っていただくのですが、市民会議の文教のものとDXと、あと総務の勉強会の茶業のものと、あと中電の視察については事務局が担当になるかと思うしますので、委員の皆さんに担当していただくのは、広報の視察の1ページ分と、あと総務の視察の1ページ分、あとの広報委員として表紙のことの0.5ページ分、計2.5ページ分の委員さんの割り振りを決めていただければと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

じゃあ、木村委員のほうで15ページの文教、16ページの総務のところを石山委員のほうでやってください。17ページの文教のほうを谷口委員のほうでやってください。

○（谷口恵世君）

広報の視察と、広報の半ページ。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

交互に。

あとDX。

○事務局書記（八木裕介君）

D Xはこっちです。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

そっちでやる。

○事務局書記（中田 綾君）

視察のほうのご担当なんですけれども、それこそ総務の委員会の分につきましては、総務の委員さんが3人おられますので、その中で多分4か所ぐらい行かれると思うので、その箇所ごとに担当を決めていただけていただければと思うんですけれども、広報の視察のページはそれこそ総務の委員さんは総務のほうをご担当いただくんですけれども、広報のほうは2か所行かれたと思いますので、1か所1人ずつで担当を決めていただくような形で、あと表紙のほうのページをつくっていただく方は各1人ずつ充てていけば6名ぐらいになるかなと思うんですけれども。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

木村委員。

○（木村正利君）

文教のほうは私と、もう一人どなたか。

○事務局書記（中田 綾君）

文教は行かないので。

○（木村正利君）

文教じゃない、ごめんなさい。広報の視察が僕になった。広報だよね。

○（谷口恵世君）

総務は石山委員と松下委員でやる。絹村委員ができないから。

だから、広報は木村委員と私と種茂委員の3人で割るという。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

片付いたのかな。結論。

事務局。

○事務局書記（八木裕介君）

結論は、総務の視察研修は松下委員と石山委員で1ページ分担当していただきまして、残りの広報の視察と広報の半ページにつきましては、谷口委員と種茂委員と木村委員で、各自割り振りを行っていただきまして、広報の視察で1ページ、広報の表紙のことで0.5ページ分を作成していただければと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

石山委員。

○（石山和生君）

ということは、さっき僕がやったほうがみたいな話はなくなったということでもいいんですよね。分かりました。

○（谷口恵世君）

じゃあ、私は広報の表紙が変わりますというのをやります。

○（木村正利君）

僕はエイベックスで、種茂委員が船橋をお願いしていただければと。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

石山委員。

○（石山和生君）

広報の視察も総務の視察もそうですが、どのくらいの文字数があると1ページ埋まるのかみたいなアドバイスをこっち側にほしいんですけど。写真1枚と、まだ全体の紙面を埋めるのは何文字くらいというのが分かれば、視察先が四つあるんだったら割る4すればいいし、一般質問のあれだと800文字くらいだったと思いますけど、どういうふうに考えるとベストなのか教えてほしいです。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

例えばタイトルを、見出しとかそういうので指示してもらわないと。適当にやっていいのか。

○事務局書記（中田 綾君）

それこそ視察の関係のページですけれども、総務の委員会のほうは4か所で1ページという形になりますので、文字の部分、1か所については少なくなりますので、総務の視察のほうについては、1か所につき150から200文字ぐらいですかね。

写真は行った箇所について1枚ぐらい載せてもいいかなと思います。

広報のほうは2か所になりますので、ちょっと文字が多くなるかなと思いますので、広報のほうは1か所250文字から300文字ぐらいでつくっていただいて、事務局でまた見させていただくというような形でよろしいでしょうか。

○（石山和生君）

写真のほうはそちらで用意してもらえるんですか。文字だけ、決められた文字だけつくれば。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

そこら辺の、文字数を大体言いましたけど、何日ぐらいまでに出すのか、どういう日程なのか、また連絡をください。

○（谷口恵世君）

広報の表紙を変えますよというのは何文字くらいですかね。

○事務局書記（中田 綾君）

ちょっと今まで例がないというか。

○（谷口恵世君）

多分、半ページに、こういうふうに変えますよぐらいにするので、あと半分くらい。

○事務局書記（中田 綾君）

文字の大きさにもよるかなと思うんですけど。

○（谷口恵世君）

0.25だとどれくらいの感じですか。0.25ページだと。

○（石山和生君）

さっきの話でいったら、総務の1ページが200文字が4箇所で800文字くらいなので、半分に分かれると、結構文字が多くて400だと思います。文字が多い場合が400字。写真とかを結構入れるんだったら、その半分で200文字くらい。200文字前後ぐらい。

○（谷口恵世君）

ちょっと考えます。

○（石山和生君）

もしビフォーアフターをやるんだったら、アフターの写真が必要なので、そこら辺をどうするかなというのはあります。それはもうお任せします。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

いいですね。

〔「なし」と言う者あり〕

2 事件 （2） 牧之原市議会だより「かけはし」第77号以降の表紙について

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

次のところで、かけはし第77号の表紙について、今後進めるに当たって、どういうふうにCSディレクターさんのほうで撮っていただくか、そういった依頼文書とか、依頼順序だとか、どういう内容で出してもらえるのか、そこら辺事務局のほうでちょっと説明を。

○事務局書記（八木裕介君）

また、表紙をCSディレクターの活動ということで依頼するに当たって、校長会のほうでご依頼をするかと思うんですが、そのときにある程度、どのような仕様、表紙をつくるに当たって、上の部分は空にしてもらって、下は地面にってもらってというような仕様となるようなものがないと頼めないかなとは思っていますので、そこをちょっと詰めていけたらと思っています。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

要するに表紙のレイアウトね、かけはしという文字を切り抜きにするのか、ちゃんと載せられるように、空けて撮るのか、下とか写真とか、そういうレイアウト構成、1ページの。

石山委員。

○（石山和生君）

前回頼んでいる様式じゃないですけど、前回はどのような依頼文で頼んでいるのか、ありますか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

幼稚園の依頼事項みたいな、前あったっけ。どういう流れで。

○事務局書記（中田 綾君）

何センチ何センチというような比率までは細かくは指定していないんですけれども、園児の顔と体が全部映るような形で、周りに少し余白を、こちらでトリミング等ができるように余白を残す形で、かつ、縦のレイアウトの写真、横のレイアウトの写真で送ってくださいというふうなお願いの仕方を今はしております。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

依頼したような文書だとか、幼稚園に出したのは何かこれにはない。

○事務局書記（中田 綾君）

タブレットには、すみません、ないです。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ページの表紙のこういう形というのは、ある程度レイアウトをこっちで出してやらない

と、それに沿って写真を撮ってもらうので。

○（谷口恵世君）

なので、今回私が0.5ページ担当するときに、こういうビフォーアフターを載せるに当たって、こういうふうにしたいよというのを先に確定して、それをC S Dのほうに、こういうのでやってくださいみたいな例で示すというか、そうしないと分かりにくい。

なので、それをちょっと決めないとあれかなと。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

それと、C S ディレクターの中学校からいって小学校なのか、順番でずっとお願いするに当たって、やっていってもらうように。なので、10校の小学校と2校の中学校、どちらからお願いして、直近の課題になってくるものですから。

○事務局書記（八木裕介君）

それこそC S Dの活動についてなんですが、学校教育課のほうに確認したところ、C S の活動自体は支援をしているんですが、細かい何月何日にここの学校がこの活動をするというようなのは取りまとめていないようなので、学校に直接聞いて、C S Dの活動はありますかということで、どんどんやっていかないといけない中で、最終的に11校目とか12校目になったときに残ってくる2校があると思うんですけど、そこがどちらも活動をやらないうちになってしまうと、載せる表紙がなくなってしまうというおそれがあります。

○（谷口恵世君）

質問ですけど、それはC S の活動って年間で多分やっているんだけど、時期に合わせての写真にしていくのか、それとも年間を通しての中で、自分たちがC S の活動、これを載せたいよというところを載せるんだったら、多分年間を通して1個ぐらいは活動をやっていると思うので、それを時期じゃなくても、例えば冬のものを、具体的に言うと、冬やったものを夏に載せるみたいな、それでもいいとするのかで、写真は必ず1枚は絶対あるとは思いますが、その辺どうなんですか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

事務局。

○事務局書記（八木裕介君）

溜め撮りがありというような状況であれば、季節感がちょっと違ってしまっても委員の皆さんが大丈夫というのであれば、ストックしておいていただくこともできると思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

季節感というより、活動内容というような解釈でやっていくか。なので、現況こういうようなスペースになってるんですけど、かけはしが取ればいいのか、とにかく全面的のか。なので、載せるとしては、例えばこういう文字と、これだけが入ってくるので、これを少なくするのか、これを活かしてかぶってもいいように全面写真でいくのか、そこら辺の解釈を皆さんで決めていただきたいと思います。

○（木村正利君）

前回の研修で広報誌のことをやられたように、撮り方だと多分、谷口委員がおっしゃられていたけど、これから撮るイメージ的には、上を空の背景。今まではスポットでやったけど、全部をちょっと開ければ、そこの字の切り抜きとかってできるよねというのは、この前勉強会をやられたじゃないですか。

だから、撮り方は別に指定してあげればいいかなと。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

とにかくこのQRのとはかぶりたくないよね。そうすると、読み取れなくなってしまうので。

○**（石山和生君）**

それは背景を白にする。

○**（谷口恵世君）**

なので、一応こういうふうに文字がここに入るといっただけは言ってあげて、例えば顔が文字のところにかぶってしまっただろうもないので、そういうのは言ってあげて、写真を何枚かくださいみたいにしておけば、こっちでうまくあてはまるものを選べばいいと思います。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

大きくしたいというと、この文字を小さくしたり、これも小さくしたりして、載せるのは3分の1とか何分の1は完全に我々のほうのかけはし第何号だ、そういうのはかぶって、切り抜きじゃなくて、上へ乗るような形。

○**（谷口恵世君）**

それをどうするかを先に決める。全面でばっとやって、文字を上に乗せるのか、それとも、委員長が言ったように、上を白くして下だけにするのかというのは、ここで先に決めて。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

なので、とにかく全面写真でいって、こういうところは切り抜きの出のか、それだけ確認。

○**（谷口恵世君）**

そうですね。それを決めたほうがいいです。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

どう。

○**（石山和生君）**

前回のこのときに、一枚絵にするというのは恐らく決まってしまうていると、もう言っているんで、決まっているので、全面であることは今確認した。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

全面でいくので、最低限度上のほうへ文字が入るので、撮り方にはご注意くださいというような流し方でやっていいよね。

○**（石山和生君）**

それはいいと思います。どういう注意の仕方をしたほうがいいかは、ちゃんと言ってあげないと、変な感じになってしまうので。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

なので、依頼するほうがこちらなので、決めて流さないといけないので、事務局のほうも大変になると思うので。

○**（石山和生君）**

上の4分の1とか3分の1は。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

4分の1ぐらいだね。

○（石山和生君）

上の4分の1は、必ずかけはしというのが入るから、人の顔が。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

下のこの文字は切り抜きだろうが何だろうが、どうにでもなるので、写真の中のこのページではね。どの中学校だ何だということは白抜きでも、文字は自由にできるので。

○（谷口恵世君）

この間、広報の1枚つくったじゃないですか。それをビフォーアフターで、多分もう一回使っているのので使えると思うので、そのビフォーアフターのアフターのほうを、CSのほうに、こういう感じでつくりたくてというのを写真で見せたほうが分かりやすいと思うから、そうしたほうがいい。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

あれは送れる、一緒に。

○事務局書記（八木裕介君）

加東市に確認を取らなければいけないと思うので、そちらは確認してというような。

○事務局書記（中田 綾君）

校長会でということですか。依頼をするときに、学校側にこれを出すということですか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

校長会ね。

○事務局書記（中田 綾君）

校長会に依頼をするときに、学校側にこれを出すということですか。そうしたら、多分他市町のものを使うよりかは、こっちである程度見本というか、今のかけはしのレイアウトのものに、何でもいいと思うので、写真とかを載せているものをつくったほうがいいかなと思います。

○事務局書記（八木裕介君）

委員長、もう一点いいでしょうか。全面写真にするということだったんですが、以前、第71号のときに、児童の顔のほうに穴がかかってしまって、いろいろあったものでして、それを機に、今回かけはしで言うところの右側にスペースが空くような仕組みにはしてあるのですが、今後については、そのスペースも全て写真にってしまうということでもいいでしょうか。

○（谷口恵世君）

穴はなくしたんですよね。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

穴はなくした。

○事務局書記（八木裕介君）

穴はなくしてあるんですが、保存される方がいらっしゃるので。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

個人で穴を空けるので。

○事務局書記（八木裕介君）

そういう方にちょっと配慮して。

○（石山和生君）

あと、一応前回の広報で議論した結果なっているからどうだって話ですよ。

○事務局書記（中田 綾君）

恐らく、広報の委員さんでそういう決定をした後に、全協で原口委員長のほうから、今後表紙はこのようにして、右に余白を空けて穴をなくしますという報告をされていると思うので、今回もしその仕様を変えたとしたら、また同じように全協で、前回こうなった経緯があったけれども、また委員会で検討した結果、写真を全面にすることにしたのでというのは報告していただかなければいけないかなとは思いますが。

右に余白が空いているのをなくすのであれば。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

それは継続していくんじゃないの。じゃなくて。

○（石山和生君）

だから、全面だけど横には余白をつくるということですか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

余白というか、トリミングというか、載せるときに写真を注意して、全面で来たらどういうふうに伸ばすのか。

○（松下定弘君）

前回の委員長は、余白をちゃんと空けるようにこれからすると言って、穴を空けないにしても。そういうふうに宣言してしまっているんで、そこを変えないといけないよということだよ、全面にするなら。

○事務局書記（中田 綾君）

変えるのであれば、また全協でご報告いただいたほうがいいかなと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

だけど、空ける以上、全面写真なりいずれにしろ、空けるとか何かの問題じゃないもんね。一面に載るんだから。余白を取るという。

○事務局書記（中田 綾君）

もし、今穴を空けない仕様にしたんですけれども、前回の委員会の経緯ですと、ご家庭に持って帰ったときに穴を空ける方がいるかもしれないということで、右に余白を空けて、絶対にそういう方がいても写真にかぶらないようなということで、前回決定して。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

それは踏襲して、まだ私も来ると穴を空けていますので。

○事務局書記（中田 綾君）

そこを、ただ変更するのであれば、また全協で同じようにご報告をしていただく必要があるかなというところです。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

逆に、空けるほうの1か所、ここが中心だよというのがほしいなと思って。いつも折ってから空けているので。

○（松下定弘君）

いいですか。さっき言った、前回の委員長が穴が空いたことについて、親御さんたちに

も説明するために、今回は穴空けの箇所はつくらないけど、スペースは空けるよという宣言をしてしまったので、全面に写真を載せることに対して、今度こういうふうにしますよとちゃんと僕らも言わないといけないよということを事務局は言っているのです。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

石山委員。

○（石山和生君）

今、かけはしの左上に緑の線があるじゃないですか。これを縦に入れてしまって、全面写真にして、穴空けされとしても緑のところが穴空けされるみたいな仕様にすれば。

○（松下定弘君）

結構太くしないと駄目だね。

○（石山和生君）

そうですね。デザインの的に、白よりは何かここにつくってしまう。じゃないと、多分難しいと思います。

結局穴の話があまり前回考えられていなかったんですけど、もしこれ穴を空けるとなったら、例えば黒の点をやって、写真を調整してとかって。どっちでもいいんですけど。

○（松下定弘君）

いいですか。全面写真をやってというのは十分分かるんですけど、スペースを空けるというのは、全面を削って、穴開けの箇所だけは残すよということとはできないんですかね。

○（石山和生君）

今僕が言っているのはそれです。

○（松下定弘君）

それですよ。そういうことは可能ですかね。そうすれば、そのままの使い方でいけるのかなと。

○（谷口恵世君）

ちなみに、広報まきのはらは今、全面写真。じゃあ、何でそれがこっちだけ駄目なのかという。

○（石山和生君）

僕もそれは思ったけど、前回そういう話になってしまっているのです。

○（谷口恵世君）

別に委員会のほうが変わって、委員長が別に全協で今回はこうしますということでもいい。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

それと、我々の業界での話だと、これで納品されているなら、この時点で穴が子供にかかって空こうが、空くまいが、空いていないものを納めたら、空けるのは個人の自由なので、本来は我々業界のことなら、ちゃんとした製品だということで終わるんだけど。業界の考え方ならね。

後で空けてかかろうが、それは問題ないことになっているんだけど。

○（石山和生君）

今の議論を全協の前でちゃんと言って、いろいろな意見があったとしても、これは広報の委員会としてそうなんだという話をするのか、前回の話もあるので、左側には穴空けパンチの部分は線を引いてしまうなり何なりするかのどちらかしかない。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

依頼するに、ある程度穴を空ける人もいるので、撮り方に注意とか何か入れれば良いと思うんだけど。全面写真で。

○**事務局書記（八木裕介君）**

C Sの方に撮ってもらうということなので、例えば、今現状で上は空にとか、背景にしておもらって、真ん中に子供で下に映らないようにという中で、また右側は子供が入らないようになってしまうと、C Sの方の負担が。なので、こちらも依頼する側になってくるので、なかなか。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

C Sディレクターが活動するときに、必ず空ばかりあるものではないので、とにかく全面でちゃんとやりたいからというなら、つくってもらったこういうような型になるよとか、全面写真で普通の教室でのC Sディレクターの展開もあるじゃんね。なので、空とか何か限定はなくて、とにかく全面写真でいきます。

○**（石山和生君）**

上に文字が乗りますよと。

○**（谷口恵世君）**

乗りますよというのを言っていると思います。

あとは、一枚だけじゃなくて、一応3枚とかはくださいというふうにしないと。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

前は2枚ぐらいだった。何枚か。

○**事務局書記（八木裕介君）**

依頼するときには、縦横の1枚ずつで依頼をしています。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

縦横のほうがいいのかな。

○**（石山和生君）**

横はいらないんじゃないですか。

○**事務局書記（八木裕介君）**

今の形で1枚絵にするのであれば、縦型の写真になると思うので、縦を複数枚もらうような形にはなるかと思います。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

穴空けの件は全協で説明するなら、全面写真になって。

○**（谷口恵世君）**

穴をそもそも空けない状態で渡すから。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

その時点で空ける人のことは、極力依頼するに当たっては、写真というか、印刷会社のほうではならないようにはこちらのほうで配慮しますけどということぐらい。

○**（谷口恵世君）**

それを委員長が説明すること。

○**（絹村智昭君）**

フォローじゃないんですけど、結局牧之原市の広報紙に関しても、穴が空いてない。そ

もそもが。なので、議会だよりもそれでいいんじゃないかという、それ同士だったら別に問題ないかなと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

一応、全協で報告するなら、全面写真で取り扱うものですから。

○（谷口恵世君）

穴の質問をされたら、委員長が、こうこうこういうふうに配慮はするしというのを言えばいいし、広報まきのはらもそういうふうになっているので、同じようにしますでいい。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

とにかく全面写真でいきますという形で。

○（絹村智昭君）

ちなみにあれですね。牧之原市議会としては、穴を空けないよと。前回穴が空いてしまっていた時点からは、それはなくなっただすよね。そこはちゃんとすれば問題ないと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

なので、全面写真で表紙のほうを出しますということだけで。

そんな具合でよろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

今日のあれはこのあれぐらいか。

○（石山和生君）

結局今、依頼するに当たっての情報は吸い上げられたという認識を事務局はしているということでもいいですか。さっき言っていた、4分の1。それは実際の見本を見せることで、そのときに説明はできるから、いいですねという、そういう話で今まとまっているという認識で合っていますか。それとも、まだ足りないものがあるんだったら。

○（谷口恵世君）

多分足りないものは、さっき言った、いつの時期でもいいのかということと、それを例えば、なるべく時期。でも、かけはしも写真が出たときと、かけはしが出たときの時期って多分ずれているから、そもそも。だから、それは別にそんなに気にしなくていいのか、それとも少し近くにやったCSの活動を撮るのかとか、その辺をどうするのかは決めていただくのがいい。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

それと、重要になってくるのは、どの順序で依頼するかというのを決めてやらないと。例えば、榛原のほうの中学から行くか、相良中学校でいくか。そっちへ行ったなら、小学校の分は相良のほうの6で回って、その後、榛原へ行くのか、榛原をやって、相良をやって、交互でてんでっこにやっていくか。

○（谷口恵世君）

今回、CSの活動を議会のほうでも周知してほしいよという話をいただいたのが、木村委員とか私がいたので、榛原中学校のCSディレクターさんが先にその話を言ってくれたので、もしそこからいくなら、取り組みやすいかなというのはあるので、例えば榛原中学校に行ったら、次は相良中学校に行ったほうがいいかなと。こういったほうがいいかな。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

中学校を交互に行くような、順繰りで依頼したいと思うので、その順番は任せますので。

○事務局書記（八木裕介君）

では、次の委員会までに一度、輪番表のなるものを。榛原中学校が先、相良中学校、牧之原中学校。また榛原の小学校から交互ということで。次回案ということで、つくらせていただきます。

また、学校のほうに依頼をする時期になるのですが、できれば今回の75号の発刊に合わせた委員会の第5回までに、ある程度形を決めさせていただきまして、8月の全協の場で表紙の報告をさせていただいて、その後、校長会9月頃依頼をかければ、11月発刊の表紙には間に合うかとは思いますが、そのようなスケジュールでやらせていただきます。

○（絹村智昭君）

先ほど谷口委員が言われた、季節で写真が入れ替わる。あれって、やっぱり一応季節に合ったものが、これは自分個人の意見だけど。あと、ただ、やっぱり相手側に、学校側に2月に上がるものですよと。なので、そういうものを考えてもらえれば。こちらで指定とか、例えば3月なら桜とか、そういう明るいイメージとか、そういうやっぱり発行される時の一応近くのアドバイス、2月になりますのでという、そういう程度でいいかなと。限定してしまうという、また大変なところもあると思うので。

○（石山和生君）

基本的にはそれでやるんだけど、その場合、ないときがあるよという話だったので、その話になったんだと思うので、極力今言っていた。ただ、そうじゃないときにどうするかという話だと思うので、今、絹村委員が言ったような進め方は一応するけど、そうじゃないときにどうするのという話ですよ。

僕も、さすがに夏に真冬を感じとかというふうにさえならなければ、ある程度のずれはいいと思っています。

○事務局書記（八木裕介君）

依頼文を校長会に出す際に、参考として、何月何日に発行する広報には何小学校というような輪番表も併せてつけておりますので、なるべく合うかなとは思いますが。

あと一点、撮った写真をためておくことになると思うんですが、卒業してしまった小学生の子が、たまっているからという理由でまた表紙として出されてしまう可能性があるのですが、その点は、依頼文か何かで。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

最初にお願いするときに、そういうふうになることもあり得ることを伝えておいたほうがいいのかも。

○（谷口恵世君）

それか、年度はまたがないように、年度ごとにやった活動じゃないとというふうに言えばいいかなと思います。ため撮りといっても、昨年のもを載せるのはちょっと駄目なので、年度で大体やっている活動を載せるというふうにすれば、それは大丈夫だと思います。

○（石山和生君）

9月号だけならたまりはないということですよ。

○（谷口恵世君）

各学校で活動内容が結構それぞれ違うから、全然やっていないところと、やっているところと差が出るというもある可能性はあるよなど。

○事務局書記（八木裕介君）

依頼する際には、年度内の写真であれば構わないというような依頼の仕方でもよろしいでしょうか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ただ、年度内だけど、先ほど言うように、順番制でいくので、季節感をある程度考慮していただきたい部分もあるので。

○（谷口恵世君）

一番自分たちが提出するときの直近の写真で私はいいのかなと思う。直近にやった活動の写真を載せてくださいでいいと思う。例えば、6月号をやる場合は、いつまでに提出ですか、写真は。そういうのはあるのかな。

○事務局書記（中田 綾君）

今回の号は7月の中旬ぐらいまでです。

○（谷口恵世君）

に写真をほしいですよとなったら、その7月の中旬に一番直近で近い活動をしているものを。先のものは無理なので、をお願いしますというふうになると、多分年度替わりのときに、前年の分が出てしまう可能性があるということだよね、それをどうするかということですよ。

それはそれで別に。卒業しても、別に、C Sの活動はC Sの活動だからいいんじゃないかなと思う。

○（絹村智昭君）

直近という言葉でつながると思う。

○（谷口恵世君）

卒業してしまっても、C Sの活動はC Sの活動だからいいと思いますけどね。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

どうですか。いいですか。

○事務局書記（八木裕介君）

では、そのような形で。依頼する際に何月号に載るというものと、発行時期と、依頼をかけさせてもらって、締切は大体これぐらいになりますというようなもので、なるべくその時期の直近のものになるような写真という一文をつけさせていただいて、依頼をさせていただこうと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

今言われたとおりになりますし、また、今日誰が担当していただいた内容の文章を作成するか、また事務局のほうで、何字内でいつまでにどういう形というので、またご連絡、タイトルとかそういうものも考えないといけないのか、それを何字にするのか、先ほど決まった内容等でご指示のほうをお願いします。

○事務局書記（八木裕介君）

また、委員会が終わりましたらご依頼させていただきますので、よろしく願いいたします。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

では、よろしいですか。

○（石山和生君）

最後にタイトルと言っていたのは、写真のタイトル。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

内容というか、記事、例えば私が船橋なら船橋のほうのどうだこうだって。

○（石山和生君）

それで連想してしまったんですけど、この写真も恐らく何々をしているときとか、そういうのをほしいですよ、多分。

○（谷口恵世君）

C S 活動の。でも、何とか中学校の C S 活動、みたいなそれでもいいと思うし。

○（石山和生君）

何かしら見出しみたいなものがあつたほうが、結局 C S のどういう活動なのかという。

○（谷口恵世君）

それはあれだよ、C S D さんに依頼して。

○（石山和生君）

それもだから依頼の中に、写真だけじゃなくて、どういう活動のときのというのは、依頼文の中に入れたほうがいいんじゃないかなと。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

そうすると、もしよければ、C S D の方にワンコメントぐらい。

○（石山和生君）

ワンコメントみたいなのがあつたら。

○（谷口恵世君）

裏面に少し載せていいのかなと思います。

○（綱村智昭君）

今現在、裏面に保育園の、わ〜い何だかとか載っているんですけど、そういうことを言っているのかなと思いますけど。

○（石山和生君）

ワンコメントはほしいかなと。

○（綱村智昭君）

それこそ、その関連で言いますと、例えばワンコメントって、前のページの下帯のところに今回はあつて、そういうふうにしてやりましょうねという話もあつたじゃないですか。市民に見てもらおうという中に、ワンコメントでページの下のところに帯、1センチぐらいあいたところに、ぱらぱらと今回は村上ディレクターさんが表紙をやってくれましたよとか、そういうのを使えるようにしていくと、いろいろ市民参加というのができるねという話をしたじゃないですか。編集後記でやるやり方よりも、リニューアルという中で、それをどういうふうにしましょうかというのはついでに検討しておいたほうが、変わっていく中では、いかがですかね。

○（石山和生君）

取りあえず、それはまた別の議題でしっかりリニューアルという話で、表紙は表紙で、

ワンコメントを、デザインはもうちょっと後で話すと思うんですけど。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ここに載っていたじゃんね。ワンコメントというか、表紙の後ろに。桜の下でパチリとか、そんな。

○（石山和生君）

今言ったように、リニューアルというか、ちょっとした変更も、どうせやるんだったら、表紙が変わるタイミングでやったほうがいいような気もするので、またそれは別途、この議論が落ち着いてからやったらいいんじゃないかなと思います。

3 その他

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

そういうことで、本日はそんな具合でよろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

では、以上で今日の会議を終わりたいと思います。ありがとうございました。

〔午前 10時58分 閉会〕